



# さつま町SC事務局だより



『平成30年8月号』

発行：公益社団法人さつま町シルバー人材センター ☎0996-52-3363

注)「SC」はシルバー人材センター、「県シ連」は鹿児島県シルバー人材センター連合会、「全シ協」は全国シルバー人材センター事業協議会、「高齢法」は高齢者等の雇用の安定等に関する法律の略です。

## 残暑お見舞い申し上げます

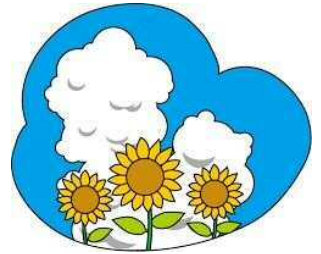
立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いています。会員の皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

さて、昨今、天気予報のコメントに新しい用語が用いられていますが、お気付きですか?「命を脅かす危険な暑さ」、「災害レベルの猛暑」、「未体験ゾーン」、「熱中症は自然災害」などの言葉です。

実態として埼玉県熊谷市では日本観測史上最高の41.1度を観測し、「お風呂だったら熱いよね」なんて対岸の火事みたいな話をしているうちに、伊佐市大口とさつま町柏原で今年最高の36.8度を記録しました。これから先、また2年後のオリンピックはどうなるのでしょうか?…誰もが心配している今年の夏です。

そのような中、全国では高齢者の熱中症事故が急増し、社会問題になっています。当センターでも7月の就業中に熱中症と認定された会員が2名いらっしゃいましたので、日帰り入院と入院2泊3日以上を対象で熱中症見舞金制度を活用しました。

まだまだ暑さはこれからですので、健康の3要素「食事」、「運動」、「睡眠」を心掛けられ、且つ熱中症対策万全で未体験ゾーンの今夏を乗り切ってくださいよう、お願い申し上げます。



## 1 新会員及び退会会員の紹介!

### 《新会員》

4月から連続4か月間新会員を確保できました。新会員のみで男性15人、女性2人、計17人となっています。お仲間に加えてください。よろしくお願いいたします。

	氏名	地域班(公民会)	年齢	性別	入会年月日
1	越竹 美代子	宮之城屋地2班(愛宕)	63	女	H30.7.18
2	木原 幸治	宮之城屋地2班(愛宕)	64	男	〃



### 《会員一人一会員確保ケース》

上記の2人のうち1人が会員の紹介による加入でした。紹介者には希望の町指定ごみ袋(20枚入り6袋)を贈りました。

紹介会員	新規入会会員
川崎 朋子(柏原・紫尾班)	越竹 美代子(宮之城屋地2班)

### 《退会者》 ご苦労様でした。ありがとうございました。

	氏名	地域班	年齢	性別	退会月日
1	船渡 勝己	神子・鶴田班	64	男	H30.7.13
2	大薄 ミヤ子	虎居班	79	女	〃

以上の入退会の動きの結果、現在、男性183人、女性95人、合計278人になっています。年度末の退会者数を考慮し、月平均3.3人を確保するためには、もうちょいきばって加入促進を図りたいところです。積極的な新会員・仲間の勧誘をよろしくお願いいたします。

## 2 8月の入会説明会は21日(火)!

8月の入会説明会は、第3火曜日の21日、9時から11時30分までセンターで行います。これまでもお知らせしましたが、地域社会におけるあらゆる職場において労働力が不足していることから、受託(請負)事業、派遣事業ともに仕事の依頼が増えています。特に派遣事業においては新しい職種が加わり、会員と就業先との条件やタイミングが合えば、即派遣契約(雇用契約)成立で派遣社員となるケースがあります。

会員の親戚、友人、知人への周知啓発やお誘いをお願いします。



### 3 安全の誓い みんなで貫徹がんばろう！がんばろう！がんばろう！

7月21日(土)、宮之城ひまわり館で92名が参加し、「安全大会兼安全就業強化年度会員及び職員研修」を開催しました。

榊山資文理事長、立小野茂安全適正就業推進委員会委員長のあいさつの後、安全スローガン最優秀賞の表彰があり、「急ぐとも必ずやろう 安全確認」の作者 池田喜直会員(船木班)が表彰されました。

その後研修に入り、安全適正就業推進計画の説明、講演、安全対策・救急救命DVD視聴、センターの事故事例と検証、シルバー保険・熱中症見舞金制度の説明が行われました。

講演は、県シ連の原田敏幸事業課長にお願いしましたが、「安全に対する意識の大切さ」と題して、県内センターの情報を中心に幅広い且つ具体的な事例を参考に解りやすく話され、安全意識、危険予知等について大きな示唆をいただきました。

大会の締めは、安全適正就業推進委員会委員長、今村大豪委員、日當瀬万里子委員による「安全の誓い」と委員長音頭による安全コール(がんばろう三唱)を全員で力強く実施し安全大会を終了しました。



会員、職員みんなで共有し、共通の目標とした安全の誓いです。貫徹するために努力しましょう！がんばりましょう！



#### 安全の誓い

私たち、さつま町シルバー人材センターの会員は、健康で働ける喜びを共通の生きがいとし地域社会への貢献を拡大するために、安全就業の取組みを強化します。

その対策として、「安全は全てに優先する」の理念の下、本日の安全大会を契機に会員一人ひとりが自らの健康管理に努めるとともに、安全就業の重要性について再認識と再確認をし、特に次の二つの取組みを就業前必須行動として励行し、「事故ゼロ」を目指し安全就業の徹底を図ることをここに誓います。

- 1 就業前のミーティングと安全点検チェック表による安全確認を行います。
- 2 すべての就業現場に「安全就業中」の桃太郎旗を立ててから作業を始めます。

平成30年7月21日

公益社団法人さつま町シルバー人材センター安全大会

※ 安全大会後の第1号事故当事者になることの無いよう、会員各位のご努力をお願いします。

### 4 安全グッズの取扱い！

☆☆ 安全大会欠席会員の皆様へ ☆☆

安全大会で配付した安全グッズです。欠席者には職員が機会を見つけて現場に届けるか、センター来所時に渡していますが到底間に合いません。時期を逸すれば不用品になりますので、センターに取りに来てください。

事故防止は、高い安全意識と危険予知が一番の対策ですが、写真のような安全対策グッズも効果があります。

事故はしないという意識は誰もが持っておられると思いますが、就業中の事故は増加傾向にあるのが実態です。その事故発生率を下げるためにも使っていただきたいので、安全意識の一つとして是非受取りに来てください。

熱中症対策グッズ  
ネックール(Wジェルで首元ひんやり)

熱中症対策グッズ  
塩飴

笛  
合図、危険告知、救助合図用

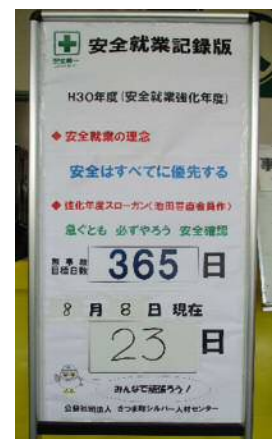


## 5 無事故365日を達成しよう！

右写真はセンター玄関に立ててある安全就業記録版です。今年度は安全就業強化年度とし無事故 365 日を目標にしましたが、なかなか無事故日数を延ばせない状況です。写真の継続日は 7 月 17 日開始で 8 月 8 日現在の日数です。

無事故継続日数が途切れないよう、また、当事者とならないよう、会員一人ひとりの安全就業の積み上げで目標を達成しましょう。

無事故 365 日達成に向けて **がんばろう** **がんばろう** **がんばろう**



## 6 刈払い機の事故事例を見て危険予知！

刈払機を使った除草作業中の傷害・賠償事故、特にナイロンカッター使用で小石飛ばし等による車窓ガラス破損事故が増えています。車所有者とのトラブルまで発展することから、難題な事故として急務な対策が迫られています。

下表は、H26 年度以降の刈払機使用の除草作業中に起こった賠償事故のみを掲載しましたので、自分なりに検証してみてください。済んだことですが予防策等対策が見えてくるとと思います。危険予知に役立ててください。



発生年月	破損状態	賠償状況	事故発生の状況	検証と対応策
H26.12	軽乗用車右後部窓ガラス破損	シルバー保険 47,972 円	倉内工業団地内道路の除草作業中(刈払機 <b>ナイロンカッター</b> 使用)、出勤してきた車右後部に小石が飛びガラスを破損	道路沿いの作業は車通過を前提に飛散防止板やネット、または交通整理をすること。特に、ナイロンカッターは飛散距離が 30~40mあるので細心の注意をはらうこと。
H27.5	軽トラ左側窓ガラス破損	シルバー保険 9,872 円 免責分会員負担 10,000 円	薩摩総合運動公園除草作業中(刈払機 <b>ナイロンカッター</b> 使用)、小石を 20m程度飛ばし駐車中の軽トラ左側ガラス破損	駐車中の軽トラを移動してもらうか、飛散防止板や寒冷紗などを利用し予防すること。
H27.7	乗用車フロントガラス破損	シルバー保険 116,604 円 免責分会員負担 10,000 円	民家周辺の除草作業中(刈払機 <b>チップソー</b> 使用)、念のため発注者の車の移動をしてもらったが、距離が足らず小石が飛びフロントガラスを破損	作業場所から死角になる場所に車移動をすれば防げたと思われる。または飛散防止板等を設置すること。
H29.5	軽乗用車リアガラス破損	シルバー保険 66,658 円 免責分会員負担 10,000 円	役場駐車場の周りを除草作業中(刈払機 <b>ナイロンカッター</b> 使用)、5m程度後方の軽乗用車に小石が飛びリアガラス破損	駐車場や建物等周囲の除草作業は、飛散防止ネットや板等を使用し、万全の対策をとること。
H29.12	軽乗用車左後部窓ガラス破損	シルバー保険 13,360 円 免責分会員負担 10,000 円	薩摩川内市内マンション駐車場の除草作業中(刈払機 <b>ナイロンカッター</b> 使用)、駐車中の軽乗用車左後部ガラス破損	車や建物等が近くにある場合、飛散防止板等設置の指示と立体式段ボール材の防止板を預けていたが無使用のため危険な作業環境をつくった初歩的なミスによる事故。必ず飛散防止対策をすること。
H30.7	軽ワゴン車左後部窓ガラス破損	シルバー保険 10,628 円 免責分会員負担 10,000 円	太陽児童遊園地内除草作業中(刈払機 <b>ナイロンカッター</b> と <b>チップソー</b> 使用)、側面道路走行中の軽ワゴン車左後部窓ガラスに小石が飛び破損	道路や建物周辺の作業は、飛散防止ネットや板等を使用し通行中の車等への飛散防止対策をすること。

### 《事故事例にみる被害者の行動等》

- ・ 作業現場にシルバー会員がいることを確認されている。
- ・ 作業中の小石飛ばしが原因だと思われる。それ以外の原因が見当たらないため確率的にも限定されている。
- ・ 上記の判断をされ**警察に通報し現場検証**を受けられる。
- ・ 警察は最終的に「小石飛ばしの可能性が高いが断定する証拠がない。当事者間の問題です。」との見解をされるが否定されないの、更に被害者は確信され**賠償請求**に至っている。
- ・ 被害者にとって事故は一方的な災害であり修理代も高額なので、泣き寝入りはされないのが一般的である。
- ・ 第三者(被害者の家族や知人、被害者側の保険代理人等)の考えと判断も同様である。
- ・ 被害者はSCの出方(当該事故に関する考え方や姿勢)を押し量っている節もあるので、基本的方針と普遍的対応が必要である。

## 《SCの判断と対応は難題になっています。》

- 警察の「断定する証拠がない」との見解を楯に、「証拠がないので賠償できません」と言える筋合いのものではない。
- これまでの事故事例、件数から勘案し、状況判断から状況証拠になり得るほどの実態であり、責任回避は難しいものと思われる。
- 会員はセンターを頼り一任されるので、会員の安心の確保のため、また今後も起こり得ると思われることから、センターの姿勢としての基本的な対策と方針が必要である。
- 「証拠がない。賠償はできません。」と結論付けた場合、被害者からの賠償請求に係る法廷闘争への発展も推測される。(被害者側からの言葉で「裁判」が出ることもある。)
- あくまでも推測ですが、法廷闘争までずれ込むと、裁判費用、手続き上の人的労力・時間・費用・精神的負担、行政指導及びSC且つ公益社団法人としてのイメージの低下・信用信頼の失墜など、直接的な賠償額を上回る多大な損失を生ずることになる。

以上のような、刈払機事故と係る対応状況ですので細心の注意と配慮、そして危険予知の下に作業に取組んでくださるよう切にお願いいたします。

## 7 安全安心の準備！ 殺虫剤スプレー代は配分金で支払います！（再掲）

- ① 草刈り、草取り、剪定及び伐採などハチ等毒虫が生息しそうな作業現場に従事される会員は、事前に自前で殺虫剤スプレーを購入し携帯してください。
- ② 殺虫剤スプレーを作業現場で使われたら、就業報告書に内容を記載し、価格(領収書)や使用量等を事務所に報告してください。
- ③ 殺虫剤スプレー使用にかかる費用は、追加配分金でお支払いします。



## 8 熱中症見舞金制度の活用を！（再掲）

7月は就業中における熱中症の会員が出て、本制度を活用しました。就業中や行き帰りの傷病が熱中症であるとセンターで確認できれば、医師の診断書なしで見舞金が支払われます。もし、熱中症になった場合は体調の回復と休養を兼ねて、可能な限り1日以上入院をされるとともに、センターには必ず報告してください。また、認定の判断書類としますので、明細入りの請求書又は領収証の写しを提出してください。

見舞金の種類	見舞金額
通院加療見舞金(日帰り入院を含む)	5千円
入院見舞金(1泊2日)	3万円
入院見舞金(2泊3日以上)	5万円
死亡見舞金	10万円

## 9 県シ連安全大会！ 樺山理事長の締めで閉会！

8月1日(水)鹿児島市で県シ連の安全大会が行われ、理事長、安全適正就業推進委員3人、職員5人が出席しました。今年は出席者が174名と例年になく多く、安全就業意識の高まりの表れかなと感じました。

冒頭、会長あいさつで、「事故が多い、事故防止は一步踏み込んだ対応が必要、理解のみでは防げない、理解を行動に移すことが大事だ」と話されましたが、まさしく同感で就業前安全確認等がその行動であると再確認しました。

30年度安全就業標語の最優秀賞は、「**思い込み 慣れと油断が事故のもと**」でした。

同時開催の安全就業担当理事及び安全適正就業推進員等研修会では、KTSタレント タマリさんの「人間大好き」と題した軽妙な語り、会場が笑いの渦にのみ込まれ、皆さん大満足の表情でした。

交流会では、お酒も入り賑やかな懇談や情報交換が進む中、鹿児島市SCから津軽三味線、唄と踊り、南九州市SCからフラダンスが披露され大いに盛り上がり、県シ連の一体感が垣間見えました。

会の締めは、我がセンターの樺山理事長が発声の指名を受け、県シ連における安全就業を祈念し、会場全員で声高らかに「がんばろう」を三唱し閉会しました。

